

ドングリ図鑑

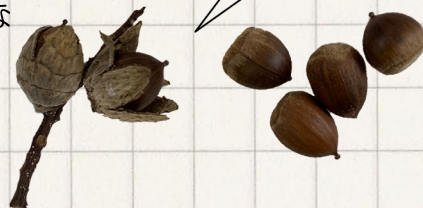
中琉球には6種類のドングリの木が自生しています。その中でも個体数が多く、またドングリを比較的容易に観察しやすいことから、モニタリング調査の標本木に向けた4種類を紹介します。

スタジイ(イタジイ) *Castanopsis sieboldii*



奄美群島～沖縄諸島、石垣島、西表島、与那国島に分布。葉は5～11cm程で厚みがあり、鋸歯（^{きょし}縁のギザギザ）のある葉とない葉がある。葉の裏は小さな毛が密生していて金色に見える。果実は2年成*¹。

果実はタンニン含有量が少なく、人間が食べてもおいしい♪



マテバシイ *Lithocarpus edulis*



関東～奄美(稀)、伊平屋島、沖縄島、座間味島、久米島(やや稀)に分布。葉は8～12cm程で厚く、長楕円形で枝先に集まってつく。葉の裏はあまり毛がなく白緑色をしている。果実は2年成。

殻は堅く殻斗（ドングリのぼうし）は浅い皿状。



アマミアラカシ *Quercus glauca* var. *amamiana*



奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄島に分布。石灰岩地域に多い。葉は8～18cm程で薄く、先半分に鋸歯がある。果実は1年成*²。

果実は長楕円形で殻の厚さが薄く割れやすい。殻斗も薄い。



オキナワウラジロガシ *Quercus miyagii*



奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島に分布。主に森の谷沿いに生えている。葉は8～18cm程で薄く、長い楕円形で浅い鋸歯がある葉とない葉がある。果実は2年成。

日本で1番大きいドングリ！



*1、*2：ドングリは開花した年に実が熟す「1年成」と翌年に熟す「2年成」があります。

